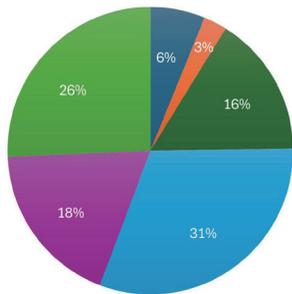


## 第38回 県民の日記念行事小瀬会場 に出展しました!!

今年度も当センターは、小瀬スポーツ公園で開催された「県民の日記念行事」に出展させていただきました。男女共同参画推進につながるワークショップや、当センターで行われる講座チラシや情報誌等の配布を行い、多くの方にお立ち寄りいただきました。男女共同参画に関する意識調査アンケートも実施しましたので、一部をご紹介します。

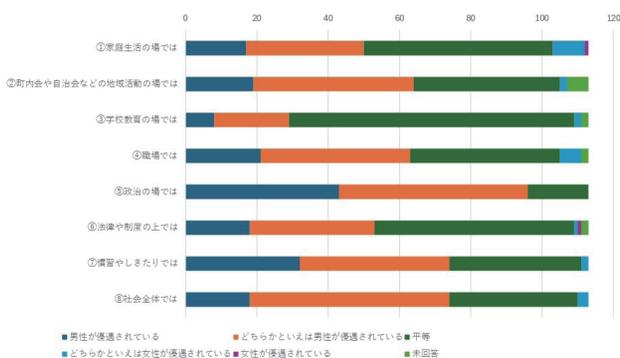
### 問. あなたの年齢を教えてください。



アンケートの回答者は、女性 81 名、男性 31 名、未回答 1 名の合計 103 名でした。回答者の年代は、40代が最も多く 31%、続いて 60代以上が 26% となりました。40代以下が半数以上を占めており、比較的若い世代の方々に、当センターブースにお立ち寄りいただいたことがわかります。また、性別では 7 割以上の回答者が女性となったことから、以下に示す回答状況も、「女性からみてどう感じるか」に少々偏っている点については、予めお含みおきください。

まず、社会のさまざまな場面における男女の地位に関する来場者の意識についてご紹介します。

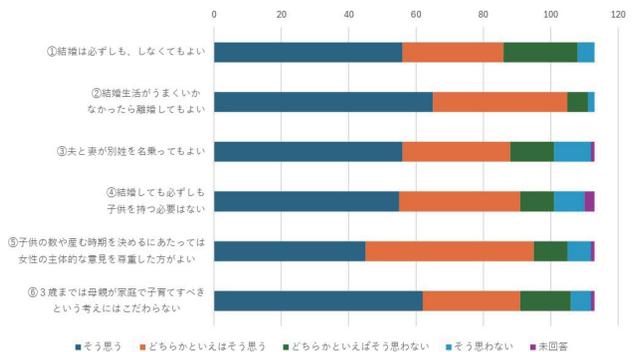
### 問. 次の各分野における男女の地位は、どの程度平等になっていると思いますか。



男女の地位は「平等である」と感じている方も多くですが、いずれの分野においても「女性が優遇されている」と感じている方は大変少ないことがわかります。特に、政治の場においては「女性が優遇されている」と感じている方は皆無で、男性が中心となっていると感じている方が多いことがよくわかります。女性初の総理大臣が誕生したとはいえ、実際、我が国の政治分野における女性の割合は低い水準にあります。

続いて、結婚・育児についてのさまざまな意見に関する来場者の意識についても聞いてみました。

### 問. 次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。



「結婚こそが女性の幸せ」「男は所帯を持って一人前」等の意見も、社会の中で未だ根強く残っていますが、回答結果から多くの方は、結婚するもしないも、子どもを持つも持たないも個人が決めてよいことであるという意識を持っていることがわかります。産むか産まないか、いつ・何人子どもを持つかを自分で決める権利のことを指す「リプロダクティブ・ライツ」は、女性の人権の重要な一つとして認識されています。

今回のアンケートでは、男女での意識の違いまでの結果は得られませんでした。社会全体の意識が少しずつ変化していることが感じられました。「女らしく・男らしく」を強いられる社会から、「わたしらしく」が当たり前の社会へ。山梨県立男女共同参画推進センターは、これからも県民の皆さまに向けてさまざまな方法で啓発を続けていきます。

